みなみたね 令和元年第4回定例会



第168号

令和2年1月31日

■発行責任者:南種子町議会議長 広浜 喜一郎 ■編集:議会広報編集委員会 ■住所:南種子町中之上 2793-1 電話 26-1111



令和元年第4回定例会が、12月11日~20日まで開催されました。

	一般質問(5名)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2~6
É	論点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
1	委員長報告(陳情審査)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
アマ	商工会と語る会・意見書発議・・・・・・・・・・・・・・9
4	決算審査特別委員会委員長報告・・・・・・・・・・・・・・・・10~11
	人事・賛否が分かれた議案・編集後記・・・・・・・・・・・12

は年間2千万円の赤字となっ

と思うが、

町長はこの事に対

方、

温泉センターの収支

小型焼却炉導入で清掃センタ 設と温泉センターの熱源確保を



二議員 河野 浩

町政の政治課題だった 河野 このことは、 前名越

般

質

問

は建屋とも老朽化が進み、 は運営開始から24年目。 現在、 清掃センターの現状 施設 今

6千万円。建屋が3千万円と

なっている。国の 「カーボンマ

ネジメント強化事業」が採択

されれば3分の2が補助され

ということだ。小型焼却炉の

もクリアー。又、業者とのメン 進んでいる。ダイオキシン基準 県・栃木県の自治体で普及が

こと。正に一石二鳥の政策だ テナンス契約も必用ないとの

ればならないと考えている

源で賄なわなければならな

らの補助金はなく全て自主財

なければならない。これも国か

億円以上の加入金を上納し

ている。小型焼却炉を導入し

で熱源が確保される。赤字額

までもない。この小型焼却炉 が大きく削減されるのは云う

は一基2千万円。3基導入で

んでいない。結論として事業

協議したことはない。ゴミ焼 計画等も内容説明についても

あるので、これから長期振興 れるのかどうかという問題も 却場の設置については周辺の 計画に載せて協議検討しなけ 環境問題、 住民の理解が得ら



▲河内温泉



▲清掃センター

してどのように考えているか。

燃やせるゴミ」を焼却する事

町長

後一

層の修繕費等が予想され

して総額9千万円の見積りと

るので総支出3千万円で済む

運営する広域種子島清掃セ

ンターに加入するとしても10

して、

西之表市・中種子町が

の自主財源が必要となる。そ

ターを新設すると15億円以上

必要だ。又、新たに清掃セン

かる支出は実に8千8百万円

る。一年間の清掃センターにか

性能は立証されており、 沖縄

私が就任してから

濱田 ·徳 議員

街の活性化について

る

ミナーの開催等を実施してい おける立地環境等に関するセ 懇談。首都圏や関東地区等に 設置事業。宇宙関連企業との フェやコミュニティスペースの 業による地元産物利用のカ 推進交付金雇用機会拡充事 会の実施。特定有人国境離島 施による商工会との意見交換 を締結。買い物アンケート実 等の利活用に関する連携協定

する場を持つ考えはないか。 のような人達と意見交換会を 頭脳と技術が集まっている。こ 濱田 南種子には日本一の

場を持つことをお願いしたい。 だと思う。積極的にそういう 非常に有効で重要

泊させる取り組みは。 濱田 観光客を町内に宿

2泊3日コース等の商品売り ドバイスを頂いた。1泊2日、 色々な先生方のア

> 出し等、 討したい。 船会社等を含めて検

携は。

長

川商ハウスと空き家

濱田

係機関等との連

にした。 不足の場合等宿泊できるよう する条例改正で宿泊施設が 企画課長 自然の家に関

生かすべく環境整備に努め の多数の文化的財産を観光に 観光地対策としては、

る

設を県とも協議検討したい。 や夕日を見学できる場所の建 また、

定は。 濱 田 今後のイベント予

うイベントも県と協議中であ 8月のトンミー市場の新米祭 る他、はやぶさ2の帰還に伴 大会を1市2町で検討中であ また、種子島トライアスロン ける満月の宴開催等がある。 り、9月前之浜海浜公園に於 宇宙へ羽ばたけ凧揚げ大会、 令和2年は1月に

クを利用した販売、フリー マーケット等、行政で足掛かり 史跡巡りやトラッ

を作れないか

要と考える。 町 長 協 力することは必

聴き一緒にできたら良いと考 生かされていない。町民の声を 仏閣、民俗信仰等あるが十分 でなく174を超える神社、 企画課長 歴史遺産だけ

西海岸沿いに屋久島

か。 合わせたイベントはできない 濱田 ロケット打ち上げに

りはできないか部内で協議し 点も多いが行政が仕掛けづく 長 行政主導では問題



▲ロケットコンテスト

防災対策について

画は。 相談及び危険個所の視察計 濱田 災害に対する住民

いては梅雨前に早急にやりた ない。危険個所視察計画につ 特に相談は受けてい

鹿による被害状況に

況は。 濱田 地 区及び被害の 状

では平成30年度が93%43 間、長谷、平山が多い。被害額 を除く7地区で16件。特に島 5万8千円である。 町 11月末で下中地区

濱 田 その対策について

は。

を重点に取り組む計画であ た。今後、生息密度の高い地域 子鳥獣対策協議会を設立し 町 平成23年度に南種

年度に目指す政策と 数値目標について



福島 照男 議員

を掲げています。

福島

町長は3つの政策

整作業をやらなければ今後の

化で活力ある町づくり 3 2、医療・福祉・教育の充実。 業の振興と活性化 1、農林水産業・観光・商工 雇用創出による若者定住

標 は 的な施策内容とその数値目 が思い描いてきた構想の具体 高まっています。この間、 が出る事に町民からの期待が な予算編成による小園カラー いよいよ小園町長の実質的 必要な予算処置の見通し 町長

り、 最 画を策定中であります。また せん。現在第6次長期振興計 設定しているわけではありま すが、具体的に個別に目標を 大きな3本の柱で示していま 初の当初予算編成でもあ 各年度の財源の確保・調

踏まえ進めていきます。 う事でご理解ください。

農業所得向上対策に

特にヒサカキは有望です。 二つ目は葉物・枝ものです。 組むべきと考えます。一つはサ る上からも必要不可欠です。 ていく中に於いては農地を守 業です。農業就労者が減少し トウキビを主幹とした大型農 発展には二極化に分けて取り 福島 本町の畑作農業の

ます。

町

長

私のマニフェストは

進められていますが、 新品種の導入に向けて準備が よる倒伏に強く多収穫が期待 そこでサトウキビですが、 台風に

具体的施策の見直しは立てら ニフェスト構想との整合性を いては、6次計画・3本のマ れませんので、今作業中とい 目標達成に必要な予算につ

ています。事業化が決まりま り込まれた予算要求がなされ 土づくり・堆肥投入などが盛 源作物生産支援対策により 度農水省予算要求に甘味資 の中で計上していますのでご 業、サトウキビプロジェクトエ 維持対策として堆肥の投入事 したら積極的に進めてまいり 審議頂きたい。また令和2年 イト振興事業として補正予算

ですが、 ます。高齢者農家にも優しい 非常に評価が高いと聞いてい カキの品質はマーケットでも 島 中でも種子島産ヒサ 葉物・枝物の推

されますが、農家負担の少な できると言われています。その い補助事業を組むべきでは。 分地力の消耗も激しいと予測

町長 新植に対する地力

> るが。 の観点からも積極的に取り組 むべきであり、 ハサミ1本で出来る作物推進 配置が重要ではないかと考え 専門職担当の

状の体制で推進して行きたい 興が図られていることから現 栽培者養成講習会に本町か 課の農業技師が連携をとり 県熊毛普及所・農協・農政 らも受講されており、 行っております。また県の葉物 と考えています 町 長 指導体制としては 葉物振



ヒサカキ圃場視察

照男 議員 大﨑

帯の現状について

48世帯68人。

平均額、最高額、最低額は。 の生活保護者世帯件数、受給 番批判の多い言葉です。本町 南種子町津々浦々歩くなか一 受給者が多いとの町民の声。 度は必要、余りにも矛盾した

0 円。 1 円 は,月額1世帯12万4,68 6項目全体での需給平均額 保健福祉課長 生活扶助、住宅扶助、医療 介護扶助、葬祭扶助の 1人当り8万8, 生活保護 0

定ができるメリット、デメリッ る業務に取り組み受給者の査 本町で保護に関す

きる。デメリットはない。 は 保健福祉課長 連携をとり町内で解決で メリット

宇宙留学制度について

大﨑

高齢化社会が進む

弱者にとって生活保護制

みを継続できるのか。 社会が進む中、 は複式学級対策、少子高齢化 タートして25年。当初の目的 大﨑 宇宙留学制度がス 現在の取り組

充当し、財源の確保を行う。 化交付金を活用し過疎債を 政については、 させ、地域の活性化を図る。財 教育活動の充実を図り、 続し、南種子町の子供たちの にとって重要な小学校を存続 町長 今後、制度を維持継 国の離島活性 地域

求める考えはないか。 対策、活性化のために協力を 生751人。本町の人口減少 今年度で, 留学修了

の構築を行っている。 流が続けられるネットワーク 種子町と留学生が持続して交 ネットワーク会議を開催し南 町 長 宇宙留学生人材

観光物産館(トンミー 市場)の運用について

納税の見込みは。

企画課長

12 月 9 日

現

2, 128万8,

大﨑

今年度のふるさと

すが、今後のトンミー市場の 運営は。 返礼品に大きく影響を受けま 大﨑 ふるさと納税激減

円。当初予算で5,

円を見込んでいる。

町財政について

増えている。引き続き、利用客 納芋の売り上げが落ち込んで 2,769円。今年度は、 売り上げは1億4,513万 の増に努めていく。 昨年度より2,000名ほど いるが、利用客は、11月現在で さと納税額の減少により、 企画課長 平成30年度の

安

方債残高、

大﨑

平成30年度末の 基金積立金現在高

地



市場買い物風景

は。 町 長 平成30年度末現在

地方債残高6億1,467万 億7,184万3,000円。 000円。基金残高は22

今後の財政対策は。

推移も注視しながら、 しについて分析推計を行い、健 これまでの政策や今後の見通 的、経済的な諸条件、特殊性、 健全で安定した財政運営に努 全化判断比率など各指標の 本町の地理、

予定価格公表について



塩釜 俊朗議員

今後も同じ考えか。 るが、予定価格公表について、 である。本町は事後公表であ 合は事前の公表もできるよう 体において適切と判断する場 法令上の制約はないので、 としている。地方公共団体は、 と認められた場合は公表する 格を類推されるおそれがない より、事前に公表せず、契約の が高どまりになるとの理由に ると、予定価格の目安となっ の予定価格を入札前に公表す 締結後に事後の契約に予定価 た競争が制限され、 落札価格 可

町長 本町は、工事及び委託の予定価格の事前公表は行っていない。予定価格については入札前に公表すると適切な精算を行わずに入札参加な精算を行わずに入札参加な精算を行わずに入札参加な大建設業者の真の技術力、経営力による競争を損ねる弊害が生じかねない事等からである。今後どのような形態が最

研究をしてまいりたい。

塩釜

国においては、工事

交通安全対策について

塩釜 町道前之峯線、本町スポーツ施設の陸上競技町スポーツ施設の陸上競技事要な路線。交通安全上、又重要な路線。交通安全上、又通学路として危険ではないか。拡幅等を含め今後どのように進めていくのか。

町長 現在2ヵ年で舗装補修をしている。交通安全対 が で 現在2ヵ年で舗装 の 社会情勢変化に応じて対応 の 社会情勢変化に応じて対応 してまいりたい。

市場)の拡充等について観光物産館(トンミー

91 27 7 元年11月までの実績を見る 0 円 塩 売り上げ数量30万6, 釜 売上金額6, 前年度対比108 前年度対比10 平成31年から令和 584万 4 6

7%、来客数7万2人、前年7%、来客数7万2人、前年度対比103.2%、となって度対比103.各数も増えている。このような状況から当然る。このような状況から当然る。このような状況から暗れているのではないか。

町長 現在は、中種子町からの出品等もあり、会員数、品らの出品等もあり、会員数、品なが増え、館内が手狭になっている事は承知している。施設ながら協議を行ってまいりたながら協議を行ってまいりたながら協議を行ってまいか。

申請について観光物産館の道の駅

塩釜 数年前から観光物 産館「トンミー市場」を道の駅 に申請すべきではないかと質 問してきたが、登録に向けて 準備をしていくとの事であっ たが、今までの経過と、今後ど

> 駅登録へ向けて助言をいただ 県道路維持課が視察し道の ありますので、運営会議等の 計画において盛り込む必要が 設の拡張の要望もあり、 については、コンサルタントに 道事務所を訪問し、基本計 意見を聞いた上で施設整備を いった物が必要であれば、基本 頂いて現在にいたっている。施 いたと聞いている。その後、 いりたい。 合わせて協議、 委託した方がいいとの助言を 町長 鹿児島国道事務所、 検討をしてま そう 玉 阃



▲トンミー市場

人事院勧告に伴う職員給

例 論

補正予算

会計補正予算 令和元年度南種子町一般 (第5号) 0)

の総額に歳入歳出それぞれ 審議から今回の補正は、 予算

べき。

関する条例制定について

5,

481万1千円を追加

図るための関係条例の整備に

制限に係る措置の適正化等を

●成年被後見人等の権利の

れぞれ5億432万9千円 Ų 予算総額を歳入歳出そ

とするもの

理及び文言の修正。

法律の改正に伴う条文の整

●南種子町職員の給与に関 質疑 清掃設備施設の維

度で措置され、小型焼却炉の

持管理委託については、

単年

例制定について

する条例の一部を改正する条

むという経緯について 設置にむけ調査研究に取り組

答弁 事業申請に至ってい

増他)

与の改正。

(一時金の0.05月

ない。

質疑 河内温泉センター

の経営改善・健全化に努める

答弁 料金改定も含めて

調査研究をしていきたい

修正動議 令和元年度南種子町 (第5号) 般会計補正予算 に対する

修正の内容

債務負担行為補正中、

南

処理施設等運転管理業務委 種子町が契約する一般廃棄物

> 額 託料の期間 令和4年」の3年間で限度 「1 億 6, 「令和2年から 6 65万円

「5,550万円」に修正。 を令和2年単年度で限度額

修正する理由

との趣旨。

が進み、今後毎年多額の修

修正案に対する質疑はなく

温泉センターに小型焼却炉

から見込まれる焼却施設に係 湯を沸かすことにより、これ

燃料費を削減できる。 とともに、 湯を沸かすための

温泉センター運営の最大の

と考える。よって、3年間の 与できる。一石二鳥の政策だ 課題である赤字の縮減にも寄 契約として、小型焼却炉の導 複数年契約でなく、 入について真剣に、そして早 単年度

修正する理由

急に取り組んでいただきたい

現在の焼却施設は老朽化

を設置し、その熱源を利用し 繕費が見込まれる された。 の賛成があり、修正案が可決 起立による採決の結果、7人

る多額の修繕費を削減できる

とおり可決

他の部分については、 ※修正された部分を除くその 原案の



令和元年第4回定例会に

委員長報告(陳情審查)

産業厚生委員会委員長 柳田 博

子町営住宅条例の改正を求 託された、 おいて、産業厚生委員会に付 陳情第8号「南種

果について報告します。 める陳情」の審査の経過と結

2020年4月施行に伴い けました。 国土交通省が、改正民法の

「公営住宅管理標準条例 (案)」を改正し、 保証人に関

道府県・政令市住宅主務部 する規定を削除する事を都

長宛に通知したことから、 市

町村も公営住宅の目的(公営

陳情の趣旨について説明を受 まず、提出者の出席を頂き、 提案を求めるということです。 宅条例」の改正案の速やかな 定を削除した「南種子町営住 を踏まえ、保証人に関する規 者のための住宅であること) 次に、担当課の意見として、

ず、 連帯保証人の規定は削除せ 町営住宅条例の規定の中

は

で、 り合いのいない方が住宅に入 や身寄りの無い方、町内に知 住宅に困窮する低所得者

いように、具体的要項を検討 居できないという事が生じな

をしたいとの説明

住宅が低所得者の住宅困窮

▲公営住宅(山崎団地)

質疑 連帯保証人の責務

質

疑

答弁 家賃の滞納時や緊

急時の対応等考えると、保証 人制度は必要と考えている。

質疑 直近で家賃の滞納

額は

答弁 滞納額は約1千万

ある。等の意見が出され協議

を終了した。

円。

質疑 保証人の限度額の

なった場合は、

委員長裁決で

事前確認で、

可

否同数と

決定することとした。

設定は。

答弁 現行の条例では、住

結

裁決の結果、

協議の内容を

滞納期間が12カ月ということ 宅の明渡し通知をするのが

踏まえ、「趣旨採択」と決定し

で、そのようなやり方になる。

た。

質疑を終わり、委員の意見

●低所得者であっても、

として

ことによって、保証人を見つけ

保証人確保を義務付ける

住宅家賃は、ほぼ税金みたい

しつかりとした決まりを作り

周知する必要がある。

ン等も切詰めて払う。不公平 ・家を建築した人等は、 口

にならない要綱を作るべきで

なもの。趣旨は納得できるが、 町営 望する住宅困窮者が、入居で よう、また 不利益を受けない きないという事が絶対にない ることができずに、入居を希 よう、十分検討を重ね、

子町営住宅条例の改正案を

南種

3月定例会に提出するよう 強く求めることとした。

『商工会と語る会』を開催

令和 元年11月27日18時か

課題について、共有できたこと

5 議室において、議員10名と商 町研修センター2階大会

年に引続き議員との語る会が 工会役員他13名が参加し、昨

ものだと感じました。 会の取組みに大変参考となる は大変意義があり、今後の議 議会では、それぞれが抱え

▲商工会と語る会

商工会からは、 、各専門部か 開催されました

れ、それぞれの課題に対して ら町に対する要望等が提起さ

意見交換がなされました

すぐに解決できる問題では

換をとおして、議員と商工会

ありませんが、今回の意見交

の皆さんが、商工会の抱える

場として語る会を開催してい る現状・課題について、話合う

ます。希望する団体等あれば

議会事務局までご連絡くださ

V







抗議する意見書採択 厚生労働省の地域医療構

プが、公立・公的病院で統合再

となった。

想に関するワーキンググルー

編が必要な病院として全国で

4

24(鹿児島県内は8)の

病院名を一方的に公表した。

今回の公表は、診療実績が

少ないとされた医療機関につ

いて公表されたもので、離鳥

実情は一切考慮されていない

や公共交通機関など地域の

ものである。

師・医療従事者確保を最重要 今回の一方的な公表は、医

課題として取組んでいる中

方的な病院名公表に

で、悪影響を与えると共に地

域に住む住民に対して、大き

な不安や心配を抱かせる結果

住む方はもちろんのこと、南 医療機関の充実は、地域に

種子町に移住を考えている方

にとって、大きな判断基準にな

▲公立種子島病院

ります。

南種子町議会は、今回の一

方的な病院名の公表に強く抗

議すると共に、地域の実情を 考慮した医療体制の強化を

求める意見書を総理大臣や

厚生労働大臣宛に提出した。



平成30年度 一般会計・4特別会計を認定

平成 30 年度一般会計並びに 4 特別会計の歳入歳出決算認定は 9 月定例会で決算審査 特別委員会に付託され、10 月 15 日から 18 日までの 4 日間、各課・事務局の決算状況の 審査を行い 18 日午後、町長・副町長・教育長・総務課長の出席を要請し、総括質疑を行っ た。

審査の基本方針

- (1)予算が議決した趣旨と目的に従って適正かつ効率的に執行されたか。
- (2) それによってどのような行政効果が発揮されたか。
- (3)公の施設の活用・管理は適正にされているか。
- (4)基金等の運用管理は適正か。
- (5)平成29年度決算認定における要望・意見及び平成30年度予算議決に対する意見がどのように処理され、反映されたか。

歳入

歳入の審査にあたっては、

- (1) 町税・使用料等の徴収がよくされているか。
- (2)補助金が適期に確保されているか。
- (3) 町債が確保されているか。
- (4)その他の収入確保は十分であったか。

歳出

歳出の審査にあたっては、

- (1)支出が適法・適性にされているか。
- (2)不用額は妥当であるか。
- (3)予算流用・予備費充用は適正にされているか。
- (4)補助金の効果はあがっているか。 以上の視点で審査にあたった。

審査の結果

その結果、平成30年度一般会計、国民健康保険事業勘定特別会計、簡易水道事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療保険特別会計の歳入歳出決算認定は、委員会で採決の結果、これを認定すべきものと決定しました。

一般会計

1. 歳入総額 59 億 5,657 万 7,817 円 2. 歳出総額 59 億 3,073 万 6,166 円

3. 差引残高 (1-2) 2,584 万 1,651 円

4. うち翌年度へ

繰越すべき財源 34万9,000円

5. 実質収支額(3-4) 2,549 万 2,651 円

6. 基金繰入額 1,300 万 0,000 円

7. 翌年度繰越額(5-6) 1,249 万 2,651 円

国保特別会計

1. 歳入総額 8億8.959万8.806円

2. 歳出総額 8億8,210万6,389円

3. 差引残高(1-2) 749 万 2,417 円

4. うち翌年度へ

繰越すべき財源 0円

5. 実質収支額(3-4) 749 万 2,417 円

6. 基金繰入額 749 万 2,417 円

7. 翌年度繰越額(5-6) 0円

簡易水道事業特別会計

1. 歳入総額 4億1,991万5,444円

2. 歳出総額 4億1,695万482円

3. 差引残高(1-2) 296 万 4,962 円

4. うち翌年度へ

繰越すべき財源 0円

5. 実質収支額(3-4) 296 万 4.962 円

6.基金繰入額 0円

7. 翌年度繰越額(5-6) 296 万 4,962 円

介護保険特別会計

1. 歳入総額 6億5,720万6,911円

2. 歳出総額 6 億 5,630 万 8,701 円

3. 差引残高(1-2) 89 万 8,210 円

4.うち翌年度へ

繰越すべき財源 0円

5. 実質収支額(3-4) 89 万 8,210 円 6. 基金繰入額 0 円

7. 翌年度繰越額(5-6) 89 万 8,210 円

後期高齢者医療保険特別会計

1. 歳入総額 8,974 万 7,306 円 2. 歳出総額 8,764 万 7,876 円 3. 差引残高(1-2) 209 万 9,430 円

4.うち翌年度へ

繰越すべき財源 0円

5. 実質収支額(3-4) 209 万 9,430 円 6. 基金繰入額 0 円

7. 翌年度繰越額(5-6) 209万 9,430 円

平成30年度財政状況

※1 比率が低い方が良い。18%以上になると町債発 行に国の許可が必要。早期健全化基準は25%。 ※2 比率が低い方が良い。早期健全化基準は350%。

審査での主な質疑・応答

(紙面の都合で一部を抜粋)

問道路ふれあい事業を実施している集落は。

答 交付金の要綱に基づき事業を実施しているのは、12 集落手続きがわずらわしいとか、高齢化などで非常に厳しいが簡素化して協力して頂ける集落を増していきたい。

問 学校施設、建物の改修等は。

答 非常に老朽化が進んでいる。6次長期振興計画の作成中であることから、早急な対応をして頂くよう要望し協議していく。

問 水道料等の滞納繰越金の状態と未納者の人数と、最高額は。

答 総額447万円程度、未納者は147名。最高額は105万円である。

問公立種子島病院の統廃合について厚生労働省から発表されたが町長の考えは。

答 県も離島の病院の状況は違うと省庁には進言して頂いている。絶対に病院は守っていかなければいけない。

町執行当局への申し入れ事項

- ① 土作りの堆肥を行政・農家一体となって取り組み、キャトルセンター・堆肥センター・農業用育苗施設の有効活用を図るとともに、早急に赤字改善に努めること。
- ② ふるさと応援寄付金について、基金を創設し活用・充当費目を透明化して、善意の寄付に応えること。
- 3 浄化槽管理委託料については、他市町並とすること。

決算審查特別委員会

委員長 柳田 博 委員 名越 多喜子

副委員長 小園 實重 // 廣濱 正治

委員 大﨑 照男 // 濱田 一徳

俊郎(61歳)

36 番

10

教育長任命



高田 健一郎 氏

昭和33年3月2日生

高田 南種子町西之2025番地 任命固定資産評価審査委員 健 郎 61歳





菊永 俊郎 氏

号 鹿児島市中山2丁目 昭和33年3月22日生



賛否が分かれた議案(○は賛成、× は反対、△は除斥)

令和元年第 4 回定例会(12 月 11 日から 20 日)

(議員氏名)	濱田一徳	福島 照男	廣濱 正治	河野 浩二	名越 多喜子	柳田博	大﨑 照男	小園 實重	塩釜 俊朗	広浜 喜一郎
議案第 52 号 令和元年度南種子町 一般会計補正予算(第 5 号)修正案		0			×	0	0	0	×	議長職

※修正部分を除く原案については、全会一致で可決



議会広報編集委員会

(文責)大﨑

照男

ださい。

ています。

議会を注目く



となり、町民本意で頑張っ

議会では、議員一同一丸



議会だより

きます。是非ご活用ください。

例会の会議録(平成27年第2 回定例会分以降)の閲覧がで 成22年6月発行分以降)と定 種子町議会の議会だより(平 トフォンなどで読み取ると南 左の二次元コードをスマー

ジの閲覧に

編

集

後

議した。 的な病院名公表に抗議す の統合再編に関する一方 の任期途中での退任に伴 事案件では、遠藤教育長 部修正し可決された。人 された。一般会計補正予算 件2件・予算案件9件・ 報告・一般質問や条例案 が開催された。町長の行政 る意見書提出について決 人事案件2件などが審議 また、議員発議で病院 令和元年第4回定例会 修正案が提案され、 菊永新教育長が選任